

## 年頭あいさつ

連合鳥取

会長 五十嵐 美知義



新年あけまして  
おめでとう  
ございます



組合員のみなさまには、ご家族お揃いで、健やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日ごろより連合鳥取の運動に対しまして、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、消費税率の引き上げに伴う消費の反動減等により実質GDPはマイナス成長となり、日銀の大胆な量的緩和により、円安と株価の上昇をもたらしましたが、為替の影響により輸入商品の価格を押し上げ、国内全体の物価上昇にも繋がりました。

一方、安倍政権は「アベノミクス」と称して、今までと同じような強いものをより強くすることで成長をめざす「トリクルダウン」型の政策を遂行し、一部の大企業や富裕層は潤いましたが、その恩恵は多くの働く者の家計や社会の底辺には波及せず、実質賃金も16ヶ月連続のマイナスとなりました。

そうした中で、党利党略と言われる第47回衆議院議員総選挙が師走に行われました。この選挙は、閣僚の相次ぐ不祥事や国会運営の行き詰まる中で、「消費増税の延期」を争点とした解散でありましたが、国民の多くが「大義なき選挙」と受け止め、投票率も戦後最低となりました。

結果は自公圧勝。小選挙区制度の特徴と、組織選挙の優位性が浮き彫りとなった選挙となりました。一方、民主党は準備不足と自民党の対立軸として、国民に理解が得られませんでした。連合は、この結果を踏まえれば、「労働者保護ルール改悪阻止」に向けた運動を一層強化する必要があるとす。そして、安倍政権のめざす先に、私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」の実現を見出すことはできません。

最後に、連合鳥取は働く者の拠り所として、その力を結集し、さらなる運動の強化と、地域に顔の見える運動を進めてまいります。引き続きご支援を宜しくお願い申し上げます。

2015年がみなさまにとって素晴らしい年になることをお祈りし、新年のごあいさつといたします。



※トリクルダウン型  
富める者が富めば、貧しい者にも自然に富が浸透(トリクルダウン)するという経済理論あるいは経済思想。

※特定最低賃金(産業別)が  
改定されました。

《各種商品小売業》  
現行 697円 ⇒ **700円** (2014年 12月13日～)

《電気機械器具製造業》  
現行 738円 ⇒ **743円** (2014年 12月25日～)

# 構成組織と仲間のご奮闘に感謝申し上げます ー第47回衆議院議員総選挙ー

第47回衆議院議員総選挙は、12月2日(火)公示、12月14日(日)20時に投票を終了し、開票が行われました。連合鳥取が組織の総力をあげて支援した 湯原俊二さん(鳥取県2区・民主党公認)は惜敗いたしました。また、民主党全体では、議席をわずかに増やしましたが、自民党の1強体制を崩すには至りませんでした。急な選挙で準備も整わない中、また序盤からの報道各社による厳しい情勢発表にもかかわらず、構成組織、地域協議会には、各地で最後まで粘り強く取り組みを進めていただきました。

今次選挙戦において、連合推薦候補の当選に向け、さらには民主党の勝利に向け、寒い中、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成組織、単組・支部・分会の役員、組合員のみならず、そして高退連組織のみならず心からお礼を申し上げます。

## <第47回衆議院議員総選挙投票結果>

■鳥取県第2区 ○選挙結果(投票率 58.23%(前回 65.39%))

候補者名	得票	(前回得票)	備考
湯原 俊二(推薦) 民主党	49,297	45,728	
赤沢 亮正 自民党	76,579	87,395	当選
福住 英幸 共産党	10,270	10,584	

■比例代表 ○鳥取県比例の党派別得票(投票率 54.37%)

政党	民主	自民	公明	維新	共産
今回	54,948	97,057	43,692	22,891	22,596
(前回)	(51,573)	(112,542)	(45,950)	(36,622)	(15,276)

# 連合 2015春季生活闘争方針(骨子)

## 2015 春季生活闘争スローガン

### 賃上げで景気の底支えを!「休み方」「働き方」改革で長時間労働を撲滅!

<基本的な考え方> 2015春季生活闘争では、すべての組合が重点的に取り組む課題として「賃上げ」「時短」「政策・制度実現の取り組み」を「3本柱」として位置づけ、これらの取り組みを通じ「底上げ・底支え」「格差是正」の実現と、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて全力を尽くす。

#### <具体的な要求項目>

2015 春期生活闘争

検索



3本柱の要求項目	「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」に向けて	「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けて
<b>賃上げ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての組合が月例賃金にこだわり、2%以上の賃上げを求める(定期昇給相当分と賃上げ額を加えた要求は4%以上となる)</li> <li>中小組合(組合員数300人未満)については、格差是正と底上げの観点で、「最低到達水準」を設定するとともに、要求基準として10,500円以上の引き上げを求める(賃金カーブ維持相当分4,500円)</li> <li>非正規労働者については、正社員との均等処遇実現をめざし、「最低到達水準」を設定するとともに、時給37円以上の引き上げを求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小共闘は10,500円以上の要求を掲げるとともに、「最低到達水準」を設定し、この水準を上回ることとする</li> <li>企業内最低賃金協定の適用労働者の拡大をはかるとともに、賃金の底上げと格差是正をはかるために、仕事内容にふさわしい水準で協定化を行う</li> <li>非正規共闘は、正社員との均等処遇をめざす</li> <li>職場における男女平等の実現をはかる</li> </ul>
<b>時短</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間労働の抑制などワーク・ライフ・バランス社会の実現をめざす</li> <li>総実労働時間1800時間への取り組みを加速する</li> <li>36協定特別条項の上限時間設定に関する協議を推進</li> <li>コンプライアンスの徹底はもとよりワークルールの改善をはかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業における労働時間44時間を40時間に縮減</li> <li>中小企業超過労働時間割増率について、月60時間超部分を50%とする</li> </ul>
<b>政策・制度実現の取り組み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の好循環に向けた産業政策と雇用政策の一体的推進</li> <li>「全世代支援型」社会保障制度のさらなる推進</li> <li>非正規公務員の処遇改善と公契約適正化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用の安定と公正労働条件の確保</li> <li>「公平・連帯・納得」の税制改革の実現</li> </ul>

# 2015 連合鳥取任務機構



本年もどうぞよろしく  
お願いします

会長	五十嵐 美知義													(◎)局長 (○)事務局	
副会長	本川 博孝 佐貫 馨 小椋 昌美														
事務局長	田中 穂														
副事務局長	吉田 正	馬場 一憲	山田 秀之	井上 準一											
企画委員会	◎本川	佐貫	小椋	◎田中	弘中	河村	前田	米村	松崎	山根	米橋	中島			
総務局	◎田中	吉田													
組織局	◎弘中	本川	佐貫	小椋	田中	◎吉田	馬場	山田	井上	河村	前田	里田	若月		
非正規労働センター (組織局と同じ)															
中小労働局	◎河村	本川	小椋	田中	◎吉田	馬場	山田	井上	弘中	里田	若月	中嶋	矢田		
中小共闘センター															
国民運動局	◎松崎	佐貫	小椋	田中	◎吉田	馬場	山田	井上	河村	小山	門脇	若月	金井		
広報教育局	◎米村	田中	◎吉田	馬場	山田	井上	門脇	中島	金井	中嶋	高見	桑村			
男女平等局	◎前田	田中	◎吉田	馬場	山田	井上	小山	米村	高見	桑村	南場	太田	大野		
労働政策局	◎小椋	本川	佐貫	◎田中	吉田	馬場	山田	井上	弘中	前田	里田	門脇	米村		
政治センター	◎佐貫	本川	小椋	◎田中	吉田	馬場	山田	井上	弘中	河村	前田	小山	門脇		
青年委員会	委員長/大野 副委員長/柳原 目春 後藤 植田 事務局長/宍戸														
女性委員会	委員長/太田 副委員長/大庭 吉田晴 事務局長/織戸														
地域協議会	東部地協 議長/山根 事務局長/馬場 中部地協 議長/米橋 事務局長/山田 西部地協 議長/中島 事務局長/井上 ※各地協事務局長は連合鳥取副事務局長と兼任														



# 地協&青年委員会・女性委員会 2015年度活動スタート!

## 《青年委員会・女性委員会定期総会》



青年委員会第24回定期総会  
(2014.11.30(日)/鳥取県労働会館)



女性委員会第19回定期総会 (2014.12.14(日)/倉吉体育文化会館)  
テーマ/日本一女性が輝く鳥取県を目指して  
学習会 講師/鳥取県地域振興部男女共同参画推進課 課長 小林加代子さん

## 《地域協議会定期総会》



東部  
東部地協第21回定期総会  
(2014.12.9(火)/ホープスターとっとり)



中部  
中部地協第20回定期総会  
(2014.12.12(金)/倉吉未来中心)



西部  
西部地協第20回定期総会  
(2014.12.22(月)/米子コンベンションセンター)

## 労働者保護ルール改悪阻止! 12.5全国統一集会で全国とつながる

12月5日(金)夜、連合は「労働者保護ルール改悪阻止!働く者・生活者のための政治勢力拡大をめざそう!12.5全国統一集会」を、全国47都道府県の会場をインターネットで結んで全国同時に行いました。

連合鳥取も集会前段に「残業代ゼロ制度反対!」「解雇の自由化反対!」と声をあげながらデモ行進を行い、集会に臨みました。

### 全国集会

- ・古賀会長の訴え  
“暴走する安倍政権の政策・労働者保護ルールの改悪を許すことはできない!”
- ・全国縦断アピールリレーのゴールセレモニー



### 鳥取県集会

- ・五十嵐会長の訴え  
“労働者の切り捨ては許さない!衆議院議員選挙の投票に必ず行って、私たちの「ノー!」の意思表示をしよう!”
- ・集会アピール採択



## より良い日本をつくるのは私たち自身 —75人が「平和に関する学習会」で学ぶ—

連合鳥取は、「2015年度運動方針・平和運動の推進」の取り組みの中で、憲法等平和に関する重要課題について理解を深めるための「学習会」を開催することとしています。喫緊の課題との認識のもと、新年度がスタートしてすぐの12月16日(火)、ホープスターととりに、学習院大学大学院法務研究科教授の青井未帆さんを講師に迎え、「集団的自衛権は、何を指すのか」と題した講演会を開催しました。

青井さんは憲法研究家の立場から、集団的自衛権行使容認に向け憲法改正を実施した場合に、私たちがおかれるであろう状況が「脅威がどの地域に発生しても、わが国の安全保障に直接的な影響を及ぼし得る状況」、すなわち「今までならば憲法9条により日本が他国の戦争に参戦することはなかったが、憲法改正がされるといつでもそれが可能になる」と訴えられました。

### —「だまされる罪」を犯さないためには—

戦前に活躍した映画監督、脚本家の伊丹万作さんの「戦争責任者の問題」の中から、「日本の敗戦後に多くの人が『今度の戦争でだまされていた』と言っている。…実際には『一人の人間がだれかにだまされると、次の瞬間には、もうその男が別のだれかをつかまえてだますというようなことを際限なくくりかえしていたので、つまり日本人全体が夢中になって互にだまされたりだまされたりしていたのだらうと思う』」という部分を取り上げ、「私たちが『だまされる罪』を犯さないためにどうしたらいいのか考えていくことが重要である。社会に流されることなく、『より良い日本をつくるのは私たち自身』であることを今一度強く認識しよう。」と締めくくられました。



講師/青井未帆さん

## 全国一斉労働相談ダイヤル —STOP!長時間労働・不払い残業・過労死ホットライン—

12月10日(水)、11日(木)の2日間、全国一斉労働相談ダイヤルが全国の連合で実施され、345件の相談が寄せられました。

連合鳥取においても、事前の街頭宣伝やNHKローカルニュースでの紹介もあり、長時間労働やパワハラに関する8件の労働相談が寄せられました。

人件費コスト削減のための人手不足や、非正規社員の増加による正規職員の任務分担の偏りによる長時間労働などの問題点も見えるとともに、やはり労働組合のない職場で働く人や、労働組合がある職場でも働く非正規職員(非組合員)からの相談が多く、労働組合の必要性を強く感じる結果となりました。



ご存知ですか?

「**連合鳥取第3次男女平等参画推進計画**」⑩

☆27産別中23産別<92単組>から回答

参考/組合員中、女性組合員は何人ですか?

【回答】女性比率42% (女性組合員11,051人/全組合員26,265人)

問1/単組全体の役員の中で女性役員は何人ですか? (延べ人数)

【回答】女性比率19% (女性役員283人/役員総数1,475人)

※組合専従の女性役員はわずか2人

※組合員数は4割なのに単組の女性役員比率は2割弱という結果。産別の場合と同様に、連合鳥取の数値目標(2017年までに50%)に向けさらなる取り組みが必要ですね。

問2/女性役員が配置してある単組は何単組ですか?

【回答】配置単組65単組(71%)

問3/女性役員がない場合、増えない場合の理由は何だと思いますか?

【回答の中から抜粋】

- ・女性組合員が少ない。(女性の雇用形態が男性の場合に比べ、非正規の場合が多く、組合員になっていないこともある)
- ・子育て・家庭の都合&仕事で多忙で、組合活動に参加しにくい。
- ・組合活動に対して、自分の中の優先順位が低い。
- ・「女性役員を一定割合に」となると、一部の独身女性にばかり動員や負担がかかっている。 …等など

今回は前号に引き続き、「2014 男女平等参画実態調査」結果から「単組」の回答について紹介するね。「ともに働きやすい職場環境」をめざすためにも、女性の声が労働組合に届くよう、女性役員を増やしてごう!



(連合のキャラクター) ユニオンマン

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取/第2回(拡大)執行委員会

- ◇日時/2015年1月23日(金)13時30分開会
- ◇場所/白兔会館・らいちょうの間
- ◇議題/①2015新春のつどいについて  
②2015春季生活闘争方針(案)について  
③各局の取り組みについて  
④年間活動計画について  
⑤「連合・愛のキャンパ」地域助成の応募について  
⑥その他

連合鳥取/2015新春のつどい

- ◇日時/2015年1月23日(金)16時30分開会
- ◇場所/白兔会館・飛翔の間

連合鳥取/2015春季生活闘争開始宣言集会について

- ◇日時/2015年2月7日(土)13時30分~
- ◇場所/倉吉体育文化会館・大研修室
- ◇参加規模/250名規模
- ◇内容/①主催者あいさつ  
②講演:地域春闘の重要性について(仮称) 講師:川野 英樹さん(JAM本部・副書記長)  
③連合鳥取2015春闘方針提起  
④意見・討論  
⑤闘争開始宣言  
⑥団結がんばろう



「ザ・議員」

興治 英夫 鳥取県議会議員

11月定例会では、連合鳥取中部地協より要望のあった「JR特急スーパーはくと全車両の倉吉駅発着の実現」について取り上げました。JAMや電機連合の組合員さんから、「県外企業から商談のために来られる方が鳥取駅発着車両に乗った時に『倉吉はずいぶん遠い』という印象をもたれ、商談に不利になる。せめて最終車両だけでも倉吉まで延伸できないか。」というお話を聞いていました。

平井知事は「昨年からJR米子支社長との連携会議をはじめているが、新社長に代わって第1回目の会議で、倉吉までの延伸について申し入れをする。JR西日本本社にも強く要請していきたい。」との答弁でした。私も実現まで粘り強く取り組んでいきます。今後ともご支援をよろしく願います。



後援会事務所開きにて

浜田 妙子 鳥取県議会議員

ともに前進できる一年でありますよう!

みなさまが、心新たに希望に燃えて新しい年をお迎えのことと思います。しかし、日々の生活の中には解決せねばならないこと山積で、限られた税金の活かし方を探るためには、多くの有権者のみなさまの夢や希望の声が具体的に政策決定の場に届けられねばなりません。

- 年4回の定例議会はその大きな機会。積極的に活かされねばなりません。因みに年末閉会した11月定例会で私は、
- ・女性の活躍を県は国をリードして推進すること
- ・保護観察対象者への社会貢献活動への協力
- ・認知症早期診断体制推進

の3題を取り上げ、知事は前向きな答弁でした。

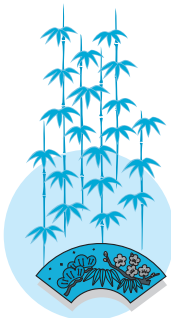
是非ネットで確認しご理解下さい。



一般質問

※とりネット(県議会)

<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>



(No.11)

常日頃、サッカーをして  
いる息子に話していること  
がある▼サッカーの練習も  
勉強も、毎日少しずつやる  
こと。例えば、腹筋を1日  
で100回やるより、20回  
を5日間やる方が、筋肉は  
鍛えられる。継続することが  
「力」になることを伝える  
ている▼年末の衆議院選挙  
で与党は326議席を確保し、  
どのような法案でも自由に  
操作できる状態になってしま  
った。戦後最低の52.66%の  
投票率となつてしまったこと  
は、政治に興味が無い者が多  
いからだ。しかし、野党筆頭  
の民主党が候補を準備でき  
なかつたことは大きい▼次  
回の選挙までには、すべての  
選挙区で戦えるように少し  
ずつ準備してきたい。

たゆまざる歩みおそろしかたつむり

りんごのりんご